

## 足立区緑の基本計画改定審議会 審議経過の振り返り

年度	月 日	会議名	内容
平成30年度	11月26日	第1回 緑の基本計画 改定審議会	・諮問 ・現行計画の達成状況と課題について
	1月18日	第1回 緑を創り守る まちづくり部会	・主に制度・ハード事業の課題整理
	2月26日	第1回 緑を育むひと・ くらし部会	・主にソフト事業の課題整理
	3月15日	第2回審議会	・課題のまとめ ・江戸川区視察(街路樹)報告 ・他自治体の将来像・目標の紹介
平成31・ 令和元年度	4月12日	第2回 ひと・くらし 部会	・「計画の目指すべき姿」の検討 ・「緑を育むひとのステップ案」の検討
	4月26日	第2回 まちづくり部会	・「計画の目指すべき姿」の検討 ・施策の方向性・具体的な取組みについての検討
	7月19日	第3回審議会	・計画の構成等(目標、施策、取組の方向)等の検討 ・江戸川区ヒアリング結果報告
	8月19日	第3回 まちづくり部会	・目指すべき姿を実現する具体的な取組みの検討 ・地域別方針についての検討
	9月10日	第3回 ひと・くらし 部会	・目指すべき姿を実現する具体的な取組みの検討 (ステップアップの考え方、 緑の協力員・緑のサポーターの見直し案等)
	10月28日	第4回審議会	・具体的な取組みを施策ごとに整理 *会議前に有志で現場(花の散歩路)視察会を実施
	12月20日	第5回審議会	・計画の素案、計画の進行管理体制について検討
	3月		・修正した素案を委員に送付し意見を収集
令和2年度	6月		・修正した素案を委員に送付し意見を収集
	7月	第6回審議会	
	8月		答申
	8~9月		パブリックコメント
	10月		改定

# 委員の皆様からのご意見と対応一覧

第6回足立区緑の基本計画改定  
審議会(令和2年7月20日開催)  
当日配布資料②

○令和2年3月版…ご意見:92件、意見者:7名

○令和2年6月版…ご意見:14件、意見者:6名

※対象ページ数は第6回審議会資料のページ数です

※誤字脱字のご指摘など、内容に関わらないご意見は掲載していません。

※ご意見をいただく際に公表する旨お伝えしていなかったため、ご意見者のお名前は載せていません。

意見番号	対象ページ数	意見内容 ※冒頭に「令和2年6月版に対するご意見」と書いてあるもの以外は、「令和2年3月版」に対するご意見です。	対応
<b>序章 わたしたちの暮らしと緑</b>			
<b>1 緑の効果(グリーンインフラ)が支えるまち</b>			
1	2	章の始まりに用語設定はいかがかと思ひます。P1序章,p2用語説明と区の方針のレイアウトはいかがでしょうか。タイトル「緑の効果」→「緑の効果のある緑環境づくりを目指して」ではないでしょうか？	用語設定の位置を文章の後に置き換えました。タイトルは「緑の効果」→「緑の効果があるまち」に改めました。
2	2	図の地域復興コミュニティ形成とにぎわいの創出の下に『歴史・伝統の継承』を追加できませんか？例えば、天然記念物の材木などが対象になると思ひます	図の地域復興のなかに「歴史・文化の継承」を追加しました。
3	2	防災と地域復興の間に防犯つける	「防犯」という言葉を、図の地域復興のなかに追記しました。
4	2・3	＜令和2年6月版に対するご意見＞ 緑の効果の説明にあたって、人間が求めているみどりの「内在的な価値」についても触れることは出来ませんか？（今更で申し訳ないのですが、価値として表現できないものも重要だと思ひます。） 例えば、 人間が本来持っている五感を、緑の美しさやみずみずしさ、木々のざわめき、花の香り、実りの味わい、葉のうおいなどで豊かにすることで、日常の生活に癒しを与えてくれます。	事務局内で検討いたしました。本計画の「1緑の効果(グリーンインフラ)が支えるまち」の部分では、緑が生活に不可欠な資源であることを強調するため、「内在的な価値」についてはあまり言及しないことといたしました。今後、普及啓発用パンフレット等を作成する際には参考とさせていただきますと思ひます。
5	2・3	P3・11行目:安心して心地よく暮らせるまちづくり→p2の図中央にある「暮らしやすく魅力のあるまちの実現」をした方がよいのではないですか？あるいは「魅力あるまちの実現」を加えたらどうでしょう	P2の図と、P3・11行目の表記を「暮らしやすく魅力のあるまちの実現」に統一しました。
6	2・3	＜令和2年6月版に対するご意見＞ 図と文章の配置を再考してほしい	事務局内で再考いたしました。本文の内容、段落の切れ目から判断し、現状のままとさせていただきます。
7	3	3行目 緑を維持し→緑を維持保全し	本文をそのように修正しました。
8	4	「(1)環境・景観」といった部分は、p1の緑の効果の説明でよろしいのでしょうか	タイトルを「〇〇に関わる緑の効果」に改めました。
9	4	ア生物多様性の保全の鳥の写真の下に種名があった方がよいです	各種名を追加しました。
10	4	イ地球温暖化の緩和 3行目までの文、気温の上昇値などを例示	気温の上昇値に関する情報を追記しました。
11	4	ウヒートアイランド現象の緩和 図の簡単な説明を	図の説明文を加えました。
12	5	ア大規模火災発生時の延焼防止5行目の緑地は「樹木に囲まれた緑地」とかではどうでしょうか？	文章を「樹木に囲まれた緑地」に修正しました。
13	6	ア パークで筋トレの説明を	説明を追加しました。
14	7	エにぎわいの創出 地域経済→地域の交流や経済	本文をそのように修正しました。

意見番号	対象ページ数	意見内容 ※冒頭に＜令和2年6月版に対するご意見＞と書いてあるもの以外は、「令和2年3月版」に対するご意見です。	対応
<b>2 持続可能な開発目標(SDGs)と緑</b>			
15	8	①SDGsの解説と②区が目指すSDGsの話に分けたほうが分かりやすいと思います。	①と②にうまく分けられなかったため、分かりやすくなるように最終行を別段落としました。
16	8	SDGsなどに振り仮名がつかまりましたので、言葉が頭に残るようになりました。読み方がわからないとすぐ忘れてしまうのでよかったです。	アルファベットによる単語にはフリガナを付けるようにいたしました。
17	8	表の目標の他にもあるのでは？幅広に含めたらどうでしょうか？特に9は「インフラ」に関係します。グリーンインフラ	関連のある目標として、5つの目標に囲いを追加しました。また、41ページの各施策に目標の画像を挿入しました。
18	8	目標11と目標15の間に目標13があってもいいかな。表にあるからいらないかもしれないけど。	表から目標13が抜けていたので、追加しました。
<b>第1章 計画の基本的事項</b>			
<b>1 計画改定の背景</b>			
19	10	取組を進めてきましたや策定しました、～のきっかけづくりを進めてきました、計画的に推進してなど、どうなったのか進めきた成果を簡単に述べることはできないのでしょうか？一定の成果がみられたので今後も取組を継続するというつながり	区が定めた「あだち公園☆いきいきプラン」や「パークイノベーション推進計画」については、「緑の現状と課題」としてP31の方に、推進内容を書いています。また、東京都の計画については、P12に内容の概略を書いております。
20	11・12	サブタイトルを文中に入れて文字量を少なく分けたほうが読みやすいのではないのでしょうか	サブタイトルの文章を短くし、本文も読みやすいように段落を分けました。
<b>2 計画の目的と位置づけ</b>			
21	13	位置づけ あだち都市農業振興プラン？ 図は正確か？農業委員会参考	分野別計画として位置付けられます。
22	13	＜令和2年6月版に対するご意見＞ エリアデザインの位置付けは正確か？ 分野別計画が都市マスの下位計画かどうかで2つにグルーピングされているが、区分は正確か？	明確に分けられない計画もあるため、分野別計画は一括りで示すように図を修正しました。
<b>3 計画の対象と対象区域</b>			
23	14	図 本計画の対象とする「水と緑」は足立区の緑地分布の上に写真を示したらどうでしょうか？	図を作成し、挿入しました。
<b>5 計画の推進体制及び進行管理</b>			
24	17	PDCAサイクルと書いてあるけど、一般的な表現なのかな。読んで行けばわかるけれども「計画作成から実行、評価、改善のサイクル」程度のカッコ書きがあってもいいかな。	本文中に「計画策定、実行、評価、改善」といった文章を追記しました。
25	17	図 進行管理のチェック 経過報告として進捗状況について区民などに向けた「情報発信」も重要ではないのでしょうか？	図のなかに、「(仮称)足立区緑の基本計画推進会議」への報告を追記しました。
26	17	中間及び最終年度の評価は「(仮称)足立区緑の基本推進会議」が行うのは年度ごとと同じですが異なるのは実態調査に基づいていることですね。ここに樹木被覆率と緑被率を集計するとありますが、どうやってやるのか、金もかかるからその手当は可能なのか、明確になっていればもっと安心ですね。前に航空写真で判定しますと聞きましたが、金がかかる過ぎてめったにできないと聞いていましたから心配です。	中間時および最終年度に合わせて、緑の実態調査を実施する予定です(P17下の本文参照)。

意見番号	対象ページ数	意見内容 ※冒頭に＜令和2年6月版に対するご意見＞と書いてあるもの以外は、「令和2年3月版」に対するご意見です。	対応
<b>第2章 緑の現状と課題</b>			
<b>1 区の概況</b>			
27	22	公有地・民有地のグラフを並べて、代表的な写真も載せてほしい	緑被地および樹木被覆地の公・民割合のグラフは示しております。写真はスペースの都合上、掲載しておりません。
<b>2 緑の量の変化と第二次計画の達成状況</b>			
28	24	図 平均緑視率の推移 緑被率と同じように他の区との比較はできませんか？どの程度の値が“良好”となるのかがわかるとういのですが…	緑視率の計測方法は各自治体で異なりますので、一律に比較するのは困難と思われ、他区比較はいたしませんでした。
29	25	＜令和2年6月版に対するご意見＞ 目標である緑化の5指標と区民との協働事業の2指標において達成されていない「緑化率」、「みどり率」、「緑視率」については、第三次の目標に同じ項目で引き継がれていない理由（取り扱い）を示した方がよいのではないのでしょうか。	P40(2)「計画目標・施策の指標」において、「緑被率」「みどり率」の実態は確認するが指標は「樹木被覆地率」とする旨、追記いたしました。
<b>3 緑の現状と課題</b>			
30	29	今後の方向性 大木、樹林地の保全に対する「ガイドライン」が必要では？	「緑の実態調査」の結果を基に、担当課では保全すべき箇所の優先度を大まかに設定しております。正式な「ガイドライン」を設ける必要があるかは、今後の検討課題とさせていただきます。
31	30	区の面積に対し約6.1%→区の面積に対し1人あたり面積4.71㎡/人	文章を修正しました。
32	31	ア 今後の方向性に上記計画(パークイノベーション推進計画と公園長寿命化計画)の継続 を追加する	「今後の方向性」の部分に「本計画(「パークイノベーション推進計画」を内包)及び「公園(大型施設)長寿命化計画」に基づく効率的な公園の改修により」と追記しました。
33	32	イ 道路 歩行空間は道路交通？歩行だけではない	「安全で快適な歩行空間」→「安全で快適に通行できる環境」に改めました。
34	32	ウ 今後の方向性 ・区の大きな特色である河川や水路の水辺を、緑豊かで気持ちのよい歩行空間として活用することによって価値を向上させ、まちの魅力を高める。 に変更	「今後の方向性」の部分を変更しました。
35	32	ウ 今後の方向性 水辺を、→水辺を保全すると共に、	「今後の方向性」の部分を変更しました。
36	33	エ 最終文の維持管理を行うことが必要に「活用」を加える	本文に「活用」を追記しました。
37	33	＜令和2年6月版に対するご意見＞ 写真をもう1枚追加してはどうか？	本庁舎屋上のエコガーデンの写真を追加しました。
<b>4 課題と方向性のまとめ</b>			
38	35	「まちづくりを通じた緑の保全と創出の視点」としてわかりやすくまとめありますのでこれを見ればいいのかと思うけれども、ここには方向性の中に4ページにあった「防災・減災」と5ページの「地域振興」に対する文言が一つもでてこないの、前を読んでいない人はこれだけでいいと思ってしまいそうです。特に公有地の中の、公園と道路にはあったほうがいいような気がします。58・59ページまで読めば書いてありますが、そこまでは出てきませんね。	「解決の方向性」の「公園」のところに、「(防災上特に必要な地域には用地の確保を推進)」と追記しました。
39	35	公有地 公園 4.71㎡/人がp30に示されていない。また現状と課題に対応するページ番号を記載	P30に1人あたりの公園面積を追記しました。また、対応する現状と課題ページ数を追記しました。

意見番号	対象ページ数	意見内容 ※冒頭に＜令和2年6月版に対するご意見＞と書いてあるもの以外は、「令和2年3月版」に対するご意見です。	対応
<b>第3章 計画の目標と体系</b>			
<b>1 計画の目指すべき姿</b>			
40	38	＜令和2年6月版に対するご意見＞ 目指すべき姿の「識る・護る・活かす・繋ぐ」の所を、「知る・守る・生かす・繋ぐ」に変更した方が良いと思う。わざわざふりがなをふって難しい字をあてるより、区民に読みやすいわかりやすい字を使用した方が良いと思う。	言葉と内容を見直し、「護る」→「守る」に改めました。「識る」は意識を高める・認識する、「活かす」は活用するといった意味合いを持たせたいため、当初のままとさせていただきます。
41	38	【護る】に水と緑のあるまちで人のやすらぎ空間をまもる→追加	【守る】のところに「水と緑のある、人が安らげる空間を守る」という文章を追記しました。
42	38	活かす 水と緑を創る→人々が使いたくなる水と緑を創る	【活かす】のところに「生き活きとした、人々が利用したくなる水と緑を創る・育てる」という文章を追記しました。
43	38	繋ぐ 人が繋がりに→人が心で繋がりに	【繋ぐ】のところに「水と緑を介して人が心で繋がりに、地域が繋がる」という文章を追記しました。
44	38	目指すべき姿がしっかりこのような形でわかりやすい形であるのはいいなと思いました。ただ「護る」「活かす」は確かに「安全を守る」「魅力のあるまちの実現」とありますが、もう一歩踏み込めないだろうか。「安全」は人々の暮らしの安全であり、「魅力」とは賑わいまでも含むものだと簡潔に言えないだろうか。	【守る】のところに「公園や農地を活かして、暮らしの安全を守る」という文章を追記しました。
45	39	＜令和2年6月版に対するご意見＞ 図や類似表記が多く、せつかくの内容が伝わりづらく思います。伝えたいことを囲むなど、伝えたいこと表記の共通ルールなどがあると見易くなると思います。	P39(1)「計画の構成と目標」の本文と図は、改めて内容を見直し、これまで2枚の図で表現していたものを1枚の図にまとめ直しました。
<b>2 計画の体系</b>			
46	39	図 目指すべき姿の下に「水と緑で誇れるまちあだち」を挿入	計画の体系図を見直しました。
47	39	2つの計画目標の間の文 緑→アーバン・フォレストはどうでしょうか？海外では使われていますが…	2つの計画目標の間に入る言葉は「プラットフォームとしての緑」としました。
48	40	計画目標の指標に水に関係する指標を入れられないでしょうか？水と緑がテーマなので	緑と水のどちらも対象となるように、計画目標2の指標に「景観・街並みが良好だと感じる区民の割合」を追加しました。
49	40	計画目標2の指標は区民の割合と「樹木被覆地率」とありますが、15ページの評価では「樹木被覆地率」と「緑被率」が並んで書かれていますので、ここにはなくていいのかな？	本文中に「緑被率・みどり率は、緑の実態調査で増減を確認しますが、目標の達成度を測る指標は「実感できる緑」として樹木被覆地率を採用します」と追記しました。
50	41	施策Ⅱ-3「お気に入りの公園がある」ということは重要ですか。区民が公園を日常的に自らの暮らしの場として使いこなす実態を増やすことが重要だと思います。	施策Ⅱ-3の指標は「行きたい公園がある人の割合」としました。また、公園を花壇管理等で活用する方も含めて、施策2の指標を「緑豊かな景観形成に取り組む区民・団体数」としました。
51	42	【水と緑を誇れるまちあだち】文章が難しく親しみを感じません。自分だけでしょうか？「清き水」「萌ゆる緑」誇れるcity足立 はいかがですか	これまで審議会で委員の皆様からいただいたご意見から「水と緑」「誇り」といった単語は変え難く、目指すべき姿は、「水と緑を誇れるまちあだち」のままとさせていただきます。
52	42	＜令和2年6月版に対するご意見＞ 水辺の保全がない	「守る」の文章のなかに「水辺地」という言葉を追記いたしました。
53	41	SDGsとの関係を示さないのでしょうか？	各施策にSDGsの目標の画像を挿入しました。
54	41	施策1「緑を育むひとを増やす」ことが、第一ステップではなく、「暮らしの中で緑の価値を活かす生活スタイルを創出」することが、始まりには重要になると思います。「みどりの自分のこと化」を始めに掲げるべきでは。	施策1は「緑を育むひとを増やす」と総称しておりますが、「緑と関わるきっかけづくり」、「緑の効果」の普及啓発など、「みどりの自分のこと化」に近付ける取り組みを掲げております。

意見番号	対象ページ数	意見内容 ※冒頭に「令和2年6月版に対するご意見」と書いてあるもの以外は、「令和2年3月版」に対するご意見です。	対応
55	41	施策Ⅱ-1「まちの魅力となっている民有地」という捉え方だけでなく「所有者自らの暮らしの魅力となる民有地の緑」が増えるという意味を加えるべきだと思います。	「まちの魅力となっている民有地」という言葉は改定案では削除しました。施策Ⅱ-1の取組み「魅力的な緑地創出の誘導」「魅力的な庭づくりの支援」などは、所有者の暮らしにも、まちにも魅力である、という意味を含めております。
56	41	施策Ⅱ-2 農地は「農業生産以外のオープンスペースを活かした多面的な体験の場としての活用」。そのことが近隣住民の、農地のじぶんのこと化につながり、農家と住民との良好な関係に発展することが望まれる。	農地の、農業生産以外の活用法として、77Pに「あだち農業振興プラン」の施策から「農家レストラン開設支援」を掲げております。農地の活用法について、今後、担当課と検討していければと思います。
57	41	施策2目標 上と連動して「多くの区民が自らの暮らしの中で緑を活かし、味わう人となる」というような目標が望ましいと思います。	当初、各施策に施策目標を設定していましたが、施策とほぼ同義となっていたため、改定案では施策目標は削除いたしました。
58	41	取組みの方向性Ⅰ-(2) 普及啓発的な進め方は、上から目線で与える発想のように感じます。区民自らの気づきの機会を作ること、そのためには緑の効果を「体験」する機会を増やすことがすべての始まりだと思います。	取組み名は「緑の効果」の普及啓発としておりますが、取組み内容としては、多くの方が緑の効果を「体験」する機会を増やすことを想定しております。
59	41	全体の構成として、「ひとづくり」「まちづくり」にわけてあるのはわかりますが35ページでまとまっていた「民有地」と「公有地」がどこにあたるのか、きちんとそこまでの方向性が繋がっているのかなとちょっとよくわかりにくかったです。	「公有地」「民有地」の表記を追加しました。

## 第4章 施策の展開

60	44	<p>＜令和2年6月版に対するご意見＞</p> <p>具体的な施策を展開するにあたって、国や都との連携についても可能な範囲で書き加える必要はないでしょうか。「第1章 計画の基本的事項」では、これらとの連携が示されていますが、施策の実施においても示しておく必要があるのではないかと思います。</p> <p>例えば、審議会において国道の街路樹の問題？などに対する意見がありました。このような問題が生じた場合なども区から管理者への情報提供は行われていると思います。</p>	<p>P56 Ⅰ-1-(1)「骨格となる水と緑の形成と拡充」</p> <p>①「骨格となる水と緑の形成」において、国や東京都にも働きかける旨、追記いたしました。</p>
----	----	---	--

### 1【計画目標1】緑を育むために自ら行動し活動するひとを増やす

61	44	「緑を育む人を増やす」ことが、第一ステップではなく、「暮らしの中で緑の価値を活かす生活スタイルを創出」することが、始まりには重要になると思います。「みどりの自分のこと化」を始めに掲げることで、の指摘に準ずる	P45の「緑を育むステップ」の具体的な事例とイメージにおいて、「暮らしの中で緑の価値を活かす生活スタイル」に関連するイメージを示しております。
62	45	ステップ1:輸入から国内農業・農作の大切を知る ステップ3:地産地消のPR推進・イベントの参加 ステップ4:農地から区民が農作物の成長と季節感を楽しめる	図のGさんのステップ3に「畑では野菜の成長や季節の移り変わりが感じられていいものだ」と追記しました。
63	47	花卉って何と読むかなんなのかも知らなかった。圃場も同じようなものだけど、普通知っているものなんだろうが。	花卉(かき)にふりがなを付けました。
64	49	②桜の花びらの始末	ここでは、特に苦情の多い落葉のことに限定した記載とさせていただきます。
65	49	企画案 一本の木から発生する落ち葉の量 落ち葉である理由も加えてほしい。樹木生育にとって落ち葉は重要なものなので	企画案に「一本の木から発生する落ち葉の量」を追記しました。また、本文中に落葉の意義を追記しました。
66	51	＜令和2年6月版に対するご意見＞ 保育園、幼稚園は「生徒」ではなく「園児」。「生徒」は中高生。	「生徒」→「園児」へ改めました。
67	52	施策2指標案 コーディネーターによる支援の回数、緑の協力人数とか？	施策2の指標は多様な協創事業に関わる方の総計として「緑豊かな景観形成に取り組む区民・団体数」と設定しました。
68	52	花の散歩路 パンフレット写真ではいかがでしょう。地面が入ると、どこにあるのか区民にわかりやすいかと思います。	スペースの都合上、パンフレットの図は配置が難しかったため、写真とさせていただきます。

意見番号	対象ページ数	意見内容 ※冒頭に「令和2年6月版に対するご意見」と書いてあるもの以外は、「令和2年3月版」に対するご意見です。	対応
<b>2 〔計画目標2〕魅力のある緑を実感できるまちづくりの促進</b>			
69	56	グリーンインフラの言葉を入れる	施策の概要の欄に「グリーンインフラ」という言葉を追記しました。
70	48	施策Ⅰ-1指標案 コアの数・コリドーの長さ？	施策Ⅰ-1の指標は、骨格となる水と緑の近くに設定する「水と緑の魅力向上ポイント」における評価といたしました。
71	63	恐縮ですが、足立区まちづくり推進委員会「第29回あだちまちづくりフォーラム」事業報告書p30～37のコンセプトなどを反映して頂けると幸いです。→まちづくり路と自慢できるひとづくり	「歩きたくなる」ルート候補を示すにあたり、参考とさせていただきます。
72	63	Ⅰ-2施策目的 ウォーカブルシティを追加	国土交通省の「まちなかウォーカブル推進プログラム」について追記しました。
73	61	水と緑のビューポイント【カードを作成して配布(マンホールやダムカードのようなもの)・写真展とか】	今後、具体的な取組みのなかで検討していきたいと思えます。
74	64	②植栽方法などの方針→植栽方法などの再生方針	文脈から、「植栽方法などの方針」のままとさせていただきます。
75	65	ア荒川 スポーツグラウンドは水辺？グラウンドの自然度をあげるのはむずかしいのでは？	荒川河川敷上のグラウンドも水辺として取扱います。グラウンド内に草地の部分を増やすなどして、自然地の増加を図る予定です。
76	67	イエカ 検討しの部分 検討し進めています？3つならぶと後ろ向きな感じ	一部、文末の書き方を修正しました。
77	67	堤防の上の桜の名所の育成で、ぜひこうあってほしいのだけでも、国土交通省での河川管理から言えば、堤防、河川敷には防災上樹木は認めていないと思いましたが、河川敷では流木が引っかかって氾濫の危険が増すし、堤防上に植樹すれば強度上の弱点になるので、堤防本体の強化と足並みをそろえて行う事業とした方がいいような気がします。	荒川土手上的のサクラの植樹は、管轄している国土交通省の許可を得て進めております。
78	70	施策Ⅱ-1の目標指標として、緑化率となっていますが、これだと航空写真による判定が必要になってくるのではないかな。という事は年に1回は予算上できないと思えますが、どうでしょうか。	施策Ⅱ-1の指標は当初「緑被率」としていましたが、施策の指標については毎年確認できるものとするため、「優良緑化件数」と「緑化助成件数」に改めました。
79	71	Ⅱ-1-1(2) ① 視界に入る緑→まちを歩く人の視界に入る緑？	本文を修正しました。
80	71	Ⅱ-1-1(2) ①まちなか緑化：下の左側の図はなにを言いたいのかなと思ったけれども、左の現状が右のようになるという事で、二つの図の間に大きな「⇒」があるとわかりやすいですね。左右の絵が同じレベルの図でないから気がつくのに時間がかかりました。	この部分は図を差し替えました。
81	73	②空き地の管理支援 空き地が荒廃し、まちの景観や安全に訂正	関係課確認中。今後、最終版までに修正予定です。
82	77	サブタイトルと文章を改行する。	サブタイトルのフォントを変え、改行し見易くしました。
83	78	Ⅱ-3 施設のことだけ？緑との関連性が薄いような書きぶり。イノベーションなどにより緑が多くなることなども書けないのでしょうか？公園の緑は維持管理のみp86	公園・児童遊園等の緑の量については、足立区緑の保護育成条例施行規則に緑化率の定めがあります。この基準を遵守することを前提に、公園の魅力を高めていきます。
84	79・80	密集地域と言うのは北千住など昔なら足立の代表的な風景ですが、プチテラスや町中の小さな空間の整備ばかりではなく、これぞ足立区と言う暮らしの中に緑と言う呼びかけ、そういう生活が楽しいと言う空気づくりもあっていいような気がしています。	暮らしのなかの小さな緑化として、P71に示す様な、緑化助成制度の拡充、「まちなか緑化」の導入検討などを進めて参ります。
85	82	公園施設の配置でお金のかかる五つの施設があげてありますが、ここまできてしつこく防災についても言及していいのではないかな。何かの時に使える井戸があってもいい。深井戸とは言わないまでも、水が来なくなったときに貴重なときに、雑用水は自由に使えることは大切だと思うし、普段水やりや掃除などで使えればそれに越したことはないと思えますが、どうでしょうか。	82ページの「公園施設の配置方法」のところに、防災設備について追記しました。

意見番号	対象ページ数	意見内容 ※冒頭に＜令和2年6月版に対するご意見＞と書いてあるもの以外は、 「令和2年3月版」に対するご意見です。	対応
86	82	(大きな面積の公園では各テーマ別エリアを作りバランスのとれた公園にする) 防災・防水 災害時の拠点利用としての公園 …追加	82ページの公園づくりの流れの図の、公園の機能に「6 その他」のなかに防災を加えました。
87	82	やすらぎの公園<例>寝転んで緑とふれ合える公園…追加	今回の改定案ではそのままとさせていただきましたが、最終版までに追加を検討させていただきます。
88	86	樹木の維持管理指針づくりは今回行われますか？区民の理解を得るよう方針を明記できると良いと思います。	「公園樹木維持管理指針」は、適宜、内容の見直しを検討する旨追記しました。
89	88	多品種の桜マップまたは区内の桜並木マップを余白がありますので、入れてみてはいかがでしょうか。・桜の維持は大変ですか？桜並木の散歩路を良い型で継続させるよう指針(植替えなど含む)を明示しても良いかと思ひます。	チューリップとサクラのマップを追加しました。
90	86	樹木診断も取り入れながら【国交省の指針も参考に】	国交省の指針について追記しました。
91	87	特性を理解した維持管理と更新 付き→発生 菌→腐朽菌	文章を修正しました。
92	88	④ 緑地や樹木などに関する情報提供システムがあると良いです。	今後、具体的な取組みのなかで検討していきたいと思ひます。
93	90	取り組み方針 公園の使い方講習会入れても良い	P91の「ボール遊び教室」や「パークで筋トレ」などが、公園の使い方の紹介にもなっています。
94	92	緑の効果→緑陰などの緑の効果	文章を修正しました。
95	87	ソメイヨシノ→サトザクラ類 押部公園の写真がない	構成を見直し、押部公園のカンヒザクラの写真を追加しました。
96	87	足立区の木と花、桜とチューリップはそのいわれと産業の歴史がありますんで、参考資料程度には書いておいた方がいいかもしれませんね。	区の木・花のいわれについて追記しました。
97	99	＜令和2年6月版に対するご意見＞ 「造園業者」という言葉があるが、前の方で「造園事業者」という表記がどこかにあった。どちらかに統一を。	「造園事業者」に統一して改めました。
<b>資料編</b>			
<b>資料3用語解説</b>			
98	103	パークで筋トレ説明入れる	説明を追加しました。
<b>全体</b>			
99	-	区民からすると、とっつきにくい、堅いイメージがある。もう少しイラストなど多用してインパクトのあるものにしては	一部、イラストを追加しました。区民向けの普及啓発用パンフレットも作成予定です。
100	-	全体的にサブタイトルと文章の文字のメリハリがなく文字ばかりの項イメージの印象があります。各項共通でサブタイトルを目立たせると良くなると思ひます。	タイトル、サブタイトルを見易くしました。
101	-	それぞれの施策の目標値が示されなくなっている。目標値を示してほしい	施策の目標値を記入しました(P96に一覧あり)。一部は今後、計画を推進するなかで提示します。
102	-	＜令和2年6月版に対する意見＞ 特に内容に対する意見はありません。3月版に対する委員の意見内容が反映されていると感じます。各参考資料文の言葉使いも親しみを感じる文章作成になってきていると思ひます。	ありがとうございます。

意見番号	対象ページ数	意見内容 ※冒頭に＜令和2年6月版に対するご意見＞と書いてあるもの以外は、「令和2年3月版」に対するご意見です。	対応
103	-	<p>＜令和2年6月版に対する意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の始まりの色は白ですか。目次の内容を表示してはどうでしょうか。</li> <li>・各章の(1)の次にあるアイウエの項のタイトル表示の共通化(全体の共通ルールがなく、見易さ・わかってもらう配慮不足)</li> <li>・用語の説明*マークの意味は 目次頁の最後または用語の説明のところで表記</li> <li>・写真に枠があるように思います。見辛く不要に思います。</li> </ul>	各種、参考とさせていただきます、見易くなるように修正いたしました。
104	-	<p>＜令和2年6月版に対する意見＞</p> <p>やっと全部読みましたが今まで積み重ねて来た上で、三月のものから、ずいぶん進化していますので全体にとりわけてどうと言うことはありません。</p> <p>全部読んだのだけれど、結局全部きちんと読まないと何が書いてあるのかわからない。まあ、当然ですが。しかし、全部始めから読む人がいるだろうかと考えたけれど、ほとんどいないんじゃないだろうか。必要なところを拾い読みするにしても、読む人によって変に偏ってピックアップしてしまうと、情報がそのまま伝わっていくか不安だと思いました。</p> <p>そこで、まず最初にアイキャッチで、「何を指そうとしているのか」を心の中に印象付けてしまえば、後を読み進むときにも情報は変に曲がったりせずに伝わっていくような気がします。</p>	目次の次のページに、「計画のあらましと参照ページ」を追加しました。
105	-	木についていろいろな役割を楽しく知ってもらいたいと思います。酸素があるのも緑のおかげですね。人間一人テニスコート1面分のアマゾンの密林が必要だと聞いています。	P49の1-(2)「緑の効果」の普及啓発の具体的な取組みなどで、今後、樹木の役割についても普及啓発を進めたいと思います。
106	-	子どもと公園、老人と公園、一緒に暮らす公園そういうものを、模索するためのマニュアルもあってほしいと思っています。	P81～83②「目的に合わせて選べる公園づくり」の具体的な取組みのなかで、地域の要望に合わせて、検討していきたいと思っています。

エリアデザインと「水と緑の魅力向上ポイント」に関する項目を一体化しました

## I-1-（2）エリアデザインによるまちの魅力向上

### ① エリアデザイン等と連携した公園、緑地の整備

足立区では、7つのエリアでまちの特徴・魅力や求めるべき将来像などを「エリアデザイン」としてまとめ上げ、区内外に広く発信することで、足立区のイメージアップや、地域の活性化を図る新しいまちづくりの取組みを行っています。「エリアデザイン」を展開するエリアや地区計画を定める範囲において、緑を活かした魅力あるまちづくりを行うため、公園、緑地、緑道、河川の整備を地域住民、民間活力と連携して進めます。

### ② 区民が誇れる「水と緑の魅力向上ポイント」の設定

第二次計画で位置付けた「緑のビューポイント」は、区イメージ向上を目的に、幹線道路と荒川の交点や、幹線道路上で主に区の出入り口となる箇所に設定され、「立体的な緑の創出や保全を目指す」としていました。しかし、それらの設定箇所では、新たな緑化や樹木を大きく育てることが困難であったため、具体的な施策や取組みには至りませんでした。

本計画では、骨格となる水と緑に近く、エリアデザインなどで実際にまちづくり事業が展開される箇所に、「水と緑の魅力向上ポイント」を設定し、水と緑の充実度を測定していきます。そのことにより、まちづくりで生まれる区の新たな拠点が、区民が誇れる水と緑の代表的な場所となることを目指します。

意図が伝わり  
にくかったため、  
文章を修正  
しました  
(7/20)

### ③ 「水と緑の魅力向上ポイント」の評価

各「水と緑の魅力向上ポイント」を評価する専用のカルテを作成し、定期的に評価することによって、まちの魅力や印象の向上を図ります。評価は、下記に示すような評価項目に対して、広く区民の目線で、採点形式で行うことを想定しています。

#### ■ 評価カルテの項目案

- ・ 緑が豊かである
- ・ 親水性が高い
- ・ 花が美しい
- ・ 紅葉が美しい
- ・ 四季によって異なる魅力がある
- ・ 見晴らしがよい